

平成24年度大規模事業評価部会の審議状況について

1. 審議対象事業

仙南・仙塩広域水道高区・低区連絡管整備事業

2. 事業概要

本事業は、仙南・仙塩広域水道用水供給事業における仙塩地区への送水管（高区系）と仙南地区への送水管（低区系）に連絡管を設置する事業である。

仙南・仙塩広域水道用水供給事業は七ヶ宿ダムを水源とし、白石市内にある南部山浄水場から、仙台市をはじめとする17市町へ水道用水を供給する事業である。浄水場からは高区系と低区系の2方向に送水を行っているが、それぞれが單一方向の管路で構成されている。現在、日量20万m³の水道用水を供給しており、一時的であっても送水を停止出来ない状況にあるが、送水管路の漏水事故や今後必要となる管路更新時には送水を継続する機能がない状態である。よって、漏水事故が発生し断水期間が長期化すれば、受水市町等に及ぼす影響は甚大となる。

これらの理由により、安定供給を確保するためのバックアップ機能を強化するため、高区系・低区系をつなぐ連絡管を整備するものである。

【参考】

予定地：村田町菅生～名取市愛島笠島地内

建設費：90.3億円

事業規模

〔管路延長〕 L=8.3km 〔布設工法〕 トンネル工法・開削工法など

〔計画送水量〕 Q=83,800m³/日 〔主要構造物〕 調整池1箇所

〔管路口径〕 φ800mm～φ1,200mm

〔事業期間〕 平成25年度～平成32年度

3. 部会審議の経過

平成24年10月17日 諮問

平成24年10月30日 第1回部会 審議

平成24年11月22日 第2回部会 審議及び答申取りまとめ

平成24年12月17日 答申

4. 審議結果（答申概要）

事業を実施することは「妥当」とされた。

なお、事業の実施に当たり検討すべき事項として、以下のとおり意見が附された。

事業の実施に当たっては、水道用水の安定供給及び水質保全の観点から、連絡管設置に伴う送水方法について十分な検討を行うとともに、布設ルートの決定に当たっては、交通状況等の周辺環境にも配慮すること。

位置図

